

54 ヨハネ 16 章 25-33 節

※イエス様が十字架にかかれる過ぎ越しの祭りを前にして、イエス様はいろんなことを教えてくださいました。そしてこれから起こることも、その時にはどうしたらいいかも教えてくださいました。いよいよこれが最後の教えの言葉となります。心して御言葉を味わいましょう。

- 1、イエス様の最後の教えとして皆さんにぜひ心に刻んでいただきたい教えは、33 節の教えです。書き写して、心に刻みましょう。

◎ここまでイエス様が教えられた事柄は、何のためだったのですか？

◎「世にあっては苦難があります」とは現在でも同じです。そんなあなたにイエス様は何とっておられるのですか？

※これらのことはあなたのためにもあるものです。信じ、受け取り、握って、苦難に負けてしまわないよう神様により頼って頑張りましょう。

- 2、(25) ここで言う「あなたがたにたとえて話しました」とは、どんなものだったでしょう。(21)

※これは、この後起こるであろう苦難、恐怖、落胆が、喜びというか益に変わることの例えです。

- 3、イエス様が語られた「その日には」(26) とは、

① いつのことなのでしょう？ (使徒 1:8、2 章)

② 「その日」が来たら、どういうことが始まると言われていますか？ (2つ)

(25)

(26)

- 4、イエス様はこの後、弟子たちがイエス様を見捨てて逃げってしまうような弱い信仰であることをご存知の上で、弟子たちの信仰を認めてくださいました。さてその信仰とは何であると言われていますか？ (27) (2つ)

・
・

※パリサイ人たちは、律法を守ることを大切に、礼拝を守り、熱心に神に真実であると自分たちは思っていました。しかし、イエス様を愛すること、神から来られた方であると信じ受け入れることが出来なかったのです。〈とても残念なことですね、でもこのような残念なことが私たちの周りに溢れているのでは!!〉

- 5、(29.30) 模範解答のような信仰告白をした弟子たちに、イエス様は、悲しい預言をなさるのでした。31.32 節を書き写しましょう。

※イエス様はこんなギャップのある、弱い者であることを知っていたうえで、弟子たちも、私たちをも愛してくださいとおられるのです。なんとありがたいことでしょう。

- 6、このところから神様 (父、子、聖霊) はどのようなお方でしょう。